

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 ・ 4 ・ 5	運営推進会議が開催できておらず、外出行事は定期的に行っているものの、地域とのつながりが弱い。地域の行事に積極的に参加できるよう、民生委員児童委員や地域包括支援センターの方たちと情報交換を密にしていく。	まず、運営推進会議を実施する。今後、入居者様の地域への参加について、民生委員児童委員や地域包括支援センターとの情報交換を図る。	すでに、運営推進会議は実施しており、公民館での行事参加、地域主催の映画鑑賞会などの行事に参加している。今後は、当施設を利用した行事を企画して、地域交流を図っていく。	3ヶ月
2	1	地域密着型サービスとして何が大切なのかを全職員で話し合い、これまでの理念に加えて、地域密着型サービスの視点を加えた理念の構築。	全職員がグループホームで働く意義を理解できるような環境を作る。	月1回のミーティング時に時間を設け、全職員が共通理解できるように勉強会を開く。	6ヶ月
3	5 ・ 8 ・ 1 4	身体拘束・権利擁護・人権教育に関する研修は行われているが、研修記録を残し、職員がいつでも確認できるようにしていく。	職員に対し、社外研修へ参加できるような環境整備を行う。また、そのことを他職員にも周知できるように社内研修を行う機会を設け、定期的実施していく。	月1回のミーティング時に時間を設け、月毎に課題(身体拘束等)を設定し、社内研修を実施する。また年間計画の中で、社外研修に参加できるよう、計画的に実施する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月